

事務事業名		取水・導水・浄水施設維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業
政策体系	政策名	0 4 潤いに満ちた快適な生活環境の創造		事業期間	
	施策名	1 5 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	0 2 水道の整備と水の安定供給		単年度繰返	
根拠法令		水道法		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	上下水道部水道課		【開始年度】	
	課長名	後藤 浩靖		昭和29 年度～	
	係名	施設保安係	電話	0192-27-3111	
	担当者	館下 睦章	内線	205	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
水源、取水施設、導水管及び浄水に係る施設の維持管理を行う。 主な事業内容 ①施設の運転管理 ②施設の日常点検 ③機器、計装設備の修繕及び点検委託 ④原水、浄水の水質監視及び検査委託 ⑤各施設の滅菌装置への塩素補充 事業費は動力費、薬品費、委託料、修繕費等である。				C 施設管理	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	財源内訳
				国庫支出金	
				都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
				事業費計(A)	0
				正規職員従事人数	
				延べ業務時間	
				人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
取水施設、導水施設、浄水施設の維持管理	ア 施設点検回数	日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 管理業務委託件数	件
前年度と同じ	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
取水施設、導水施設、浄水施設	名称	単位
	カ 取水施設数	施設
	キ 導水管延長	m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク 浄水施設数	施設
取水、導水及び浄水施設の機能が維持される。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ 電気・機器・計装設備の事故・故障件数	件
水質の良い水を安定して供給できる。	シ 水質事故件数	件
	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
			千円	0	0	0	0	0	0	0
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	50,552	53,733	68,744	58,309	100,000	100,000	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)			千円	50,552	53,733	68,744	58,309	100,000	100,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900	900	900	
		人件費計(B)	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	54,152	57,333	72,344	61,909	103,600
⑤活動指標			単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
	ア	日		93	96	85	95	90	90	
	イ	件		7	8	7	7	8	8	
	ウ									
⑥対象指標			単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
	カ	施設		7	7	6	6	14	14	
	キ	m		4,388	4,388	4,388	5,485	6,675	6,675	
	ク	施設		6	7	5	6	14	14	
⑦成果指標			単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
	サ	件		7	3	5	5	5	5	
	シ	件		0	0	0	0	0	0	
	ス									

事務事業ID	0309	事務事業名	取水・導水・浄水施設維持管理事業
--------	------	-------	------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和29年4月、上水道の供用開始による。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	施設範囲の統合により、小さな取水施設を廃止している。 令和6年度より、大船渡市上水道事業と大船渡市簡易水道事業が統合された。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民から、水質の良い水を安定して供給されることが求められている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ 取水・導水・浄水処理機能を維持することで、水道利用者に対し、水質の良い水を安定して供給できる。その結果、快適な都市環境の維持と向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 水道事業は地方公営企業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 維持管理事業であり対象、意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 管理人が常駐する施設とその他の各施設を電話回線やクラウドで結び、情報伝達できる装置の充実を図り、事故の未然防止に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 良質の水道水の安定供給ができなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 電気料金が高騰しており、その経費が大部分であるため、これ以上の費用の削減は困難である。令和5年度までは電気料金に政府補助があったため事業費が減っている。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限の人員で事業を実施しているため、これ以上の人件費の削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 安定した水を供給するためには適切な維持管理が必要不可欠であり、その維持管理費は水道料金に転嫁されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×	対象施設の増加及び既存施設の老朽化が進行していることから、事故の未然防止に努めるとともに、計画的で効率的な整備、更新が必要である。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	安全な水道水の安定供給のためには、機械・電気設備の日常点検、定期点検の実施など施設の適正な管理が重要であり、必要不可欠な事業である。